※令和４年度以降入学生用

学校番号	3023

令和８年度　芸術

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「Ｍｏｕｓａ１」　（教育芸術社）						
副教材等	The Basics of Music　（２訂版）　（教育芸術社）　自主教材プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」　「楽器を演奏すること」　「音楽をつくること」　「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽の学習はクラスメートとともに実際やってみて、試してみてこそ価値のあるものとなり、そうして感性が豊かになります。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。音楽を単なる教科としてではなくリベラル･アーツの観点からとらえ、豊かな人格の形成を視野に入れる。

・音楽作品の表現の工夫や音楽文化などを理解し、創造的な音楽表現をするために必要な技能が身につくこと。テーマや鑑賞内容について技法の基本的な知識を持ち、かつ自分なりに考えて応用することができること。
・感性や想像力を働かせて、各自の表現から感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し創造的な表現の構想を練っていること。また、意図に応じて、表現方法や技法について自ら考え工夫していること。

・音楽表現の技法を自分なりに工夫していること。また、テーマに即して、主体的に資料を集めている。また、関連する音楽家の作品に興味を持ち調べ学習をしていること。完成後の振り返りシートでは客観的に自らの音楽表現に対して論評を述べ、次の表現に生かしていること。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な楽譜の知識と歴史を理解している。 楽譜をつかい歌唱、器楽、創作など創意工夫できる技能を身に付け、創造的に表現につかっている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図を持ち、評価しながら良さや美しさを味わい演奏し聴いたりしている。	音楽や音楽文化と豊かにかかわることで関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的・協導的に取り組もうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	楽典・楽譜の読み方	楽譜の歴史や表記のしかたを理解する。 演奏への反映の仕方を学ぶ。	a:楽譜のしくみと読み方を理解している。 b:生徒歌、練習曲（歌唱）を歌うことで表現を工夫している。 c:楽譜の理解と簡単なメロディー作曲・写譜を行っている。	・小テスト ・ワークシート	・パフォーマンス	・楽譜視唱 ・作曲実習
	ギター演奏を楽しむ	クラシックギターを持ち、仕組みやギター楽譜を読みとる。 音の鳴らし方を理解し、演奏することで表現方法を学ぶ。 グループ演奏や独奏を行う。	a:ギターの発音の仕組みと楽譜の読み方を理解している。 b:【ギター課題】を演奏することで表現を工夫している。 c:ギターを使いアンサンブル演奏を行っている。	・ギター実技テスト ・準備	・ギター実技テスト ・演奏観察	・観察 ・感想レポート
	琴に挑戦しよう	弦楽器として我が国の伝統楽器である琴について ・歴史と知識を学ぶ。 ・鳴らし方を理解し演奏によって表現方法を学ぶ	a:発音の仕組み・琴の楽譜の読み方を理解し演奏している。 b:琴曲実技において表現を工夫している。 c:琴を使ったアンサンブルを行っている。	・和楽譜の理解。 ・演奏実習	・発表 ・観察	・観察 ・感想レポート
二学期	キーボード演奏を楽しむ	キーボード(シンセサイザー)実習で鍵盤楽器の原理と弾き方を理解する。 簡単なピアノ曲を演奏することで表現方法を学ぶ。	a:キーボード楽譜のしくみと読み方を理解している。 b:【キーボード課題】を演奏することで表現を工夫している。 c:キーボードを使ったアンサンブルを工夫している。	・キーボード実技 ・テスト準備	・キーボード実技テスト ・演奏観察	・観察 ・感想レポート
	芸術(音楽)鑑賞	舞台芸術全般を音楽的な観点から鑑賞し、意見をまとめる。 題材はオペラ・バレエや映画、そして日本の伝統芸能やアジア地域の音楽も含めて扱う。	a:演目についての知識を理解している。 b:鑑賞し感想文を書いている。 c:それぞれ感想を発表しいろいろな受け止め方を理解している。	・ワークシート	・ワークシート	・観察 ・質疑応答 ・感想レポート

※令和４年度以降入学生用

三学期	声楽実技	効果的な体の使い方から呼吸法、発声方法を理解する。 独唱の表現方法を学ぶ。	a:発声練習と歌唱法を理解している。 b:歌唱実技から表現を学んでいる。 c:楽曲の解釈と表現の工夫を他者の演奏から受け止めている。	・体を使った発声 ・歌唱演習	・歌唱実技テスト	・観察。 ・ふりかえり
	まとめ	音楽全般について知識を得る。 技術を考察し、考えをまとめる。	a:民族音楽（邦楽も含む）の知識を理解している。 B:レポートに考えてまとめている。 c:関心を持つ音楽について考察し意見を交換している。	・レポート	・レポート	・ふりかえり ・質疑応答

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度